

「E!KANSAI」では、管内の特色ある企業や地域の活動を紹介するコーナーを設けました。今回は株式会社エイトテック・菊正宗酒造株式会社をご紹介します。

中小企業発！世界の水環境改善への挑戦

株式会社エイトテック 代表取締役 木村 俊雄さん

担当課室：環境・リサイクル課

環境・リサイクル課では、平成20年11月に「関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラム」を立ち上げ、アジア等で拡大している環境ビジネス市場への事業展開を支援しています。

本フォーラムにおいては、タイ・中国（主に遼寧省及び広東省）を重点地域とし、現地へのビジネスミッション派遣や受入れ等の個別ビジネス展開支援や、関西の強みを活かしたシステム提案型のビジネスモデルの構築支援、またそれらを支えるビジネス交流基盤を確立するための相手国関係機関との協力の枠組み構築等を行っているところ



です。
今回は、昨年本フォーラムで実施したタイへのビジネスミッションに参加された株式会社エイトテック（本社：大阪市）の海外展開への取り組みについてご紹介します。

昨年の5月にタイのバンコクで開催された「ENTECH POLLUTEC Asia 2009」の展示会では、「次亜塩素酸生成装置と超音波流量計」をパネル展示していただきました。

株式会社エイトテックは、もともとは精密板金・試作品製作の会社として平成元年に創業された会社です。脱サラして始めたという精密板金・試作品製作という仕事は、ほとんどは得意先が設計した部品を図面通りに製作する受注生産とのことですが、社長には物づくりの会社をやるからには自社製品を作りたいとの夢がありました。また、たまたま以前に勤めていた会社で水道用鋳鉄管の技術部や営業部に所属していたこともあり、水道事業に関して多少の知識があったそうです。

そこで開発されたのが、水道水に少量の食塩を添加して電気分解することにより殺菌力のある次亜塩素酸を生成できる、持ち運びの簡単な小型の生成装置「NatuLyzor ET」です。次亜塩素酸はノロウイルスやO-157などほとんどの病

原微生物の殺菌に有効で、厨房の衛生管理や手指の洗浄・食材や調理器具の殺菌洗浄・院内感染予防・お風呂の殺菌などの用途がありますが、中小企業が自社製品販売するとなると流通の問題など難しいところもあります。

「ENTECH POLLUTEC」展では、水道水に含まれているミネラルを原料に無添加で殺菌する上水道向けの次亜塩素酸生成装置「ミネラー」を展示したところ、大学時代に日本に留学していたタイ人の財閥系の親友から、100人ぐらいを対象にした簡易浄水設備の開発が出来ないかとの相談を受けられたそうです。



NatuLyzor ET

また、大阪市工業会連合会の異業種交流開発プラザ「エックスメイト」のメンバーの一人がフィジー諸島共和国の名誉領事に就任したのが縁で、昨年8月には電気も水道もないフィジー諸島のナイサウサウ村を社長が訪問した時、屋根からの雨水をタンクに貯めて飲料水として利用している現状に直面しました。

そこでタンクに貯めた雨水をソーラーパネルで発電した電力で電気分解し殺菌をすることを提案され、東京のフィジー大使館を通じて話を進めているそうです。飲み水の殺菌用としての海外での実績では、他にもヤマハ発動機株式会社がインドネシアで設置した小規模浄水プラントや、カンボジアで東大寺の僧侶がボランティアで掘っている井戸の水を殺菌するのも使用されているとのこと。

最近、環境や省エネルギー関連で、我が国では官民一体となってインフラの輸出に力を入れています。ほとんどは大規模な計画のため、なかなか中小企業が参入できる余地はありませんが、100人から200人を対象にし、村人だけでもメンテ出来る程度の簡易な浄水プラントに関してはまだまだ参画できる可能性があるかもしれない、と考えておられます。

日本の水道の普及率は全国平均で97%以上ありますが、中国や東南アジアの田舎ではまだまだインフラ整備が整っていないので安全な飲料水の確保という面では多くの需要があると思われ、こうした分野にどのように取り組んで普及させていくかがこれからの課題という同社の今後のさらなるご活躍が期待されています。

会社名：株式会社エイトテック

所在地：大阪市淀川区三津屋南3-7-3

電話番号：06-6308-7517